

地域ケア会議推進事業（自立支援型地域ケア会議）について

1 会議概要

1) 内容

ケアマネジャーが作成するケアプラン等の事例資料を基に、理学療法士、歯科衛生士、管理栄養士等が自立支援の観点から事例の支援方法について助言する。各分野の助言を通して、介護予防に資する支援方法をケアマネジャー、サービス提供者、傍聴者、助言者の全員が学ぶ。

2) 対象

事業対象者、要支援 1・2 で、総合事業通所介護、総合事業訪問介護、福祉用具貸与、おでかけデイサービスのいずれかを利用しているもの

3) 参加者

ケアプラン作成者、地域包括支援センター職員、サービス事業者、理学療法士、歯科衛生士、管理栄養士、保健師、生活支援コーディネーター、行政

4) オンライン開催

Zoom を活用しオンラインでも参加可能としたが、当会議については性質上、対面で実施した方が意見や議論が深まるため、原則参集型で開催していく予定。（オンライン傍聴は可）

5) 実績

事例提供した介護支援専門員等は、合計 153 名

年度	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	合計
開催回数 (回)	20	19	20	20	12	12	12	115
検討事例数 (件)	58	52	33	35	28	22	24	252

2 今後の方向性

令和 3 年度の事業評価アンケートを機に、令和 4 年度からは月 1 回の開催とし、専門職に聞き取りをしながら二次アセスメントシート等の様式の変更を実施した。会議実施後に行うアンケートをもとに、適宜、様式や開催方法等について修正している。

令和 7 年度以降については、プラン選定方法を見直したり、検討時間を延長したりすることでより質の高い会議を目指していく。